



松山市立石井北小学校
学校だより 第298号
発行日 令和8年 6月24日
責任者 校長 能田 尚幸
連絡先 電話 957-6300

安全な登下校で命を「まもるん」

生徒指導主事

本校では、「安全な登下校」について日々指導を行っています。登下校は、子どもたちが上級生から下級生まで協力して過ごす時間であり、自分の命を守るための力を育てる機会でもあります。しかしながら、最近の登下校の様子を見ておきますと、

- ・遅刻などにより、一人で登校している児童の姿が見られる。
- ・決められた登下校コースを守れていない。

といった状況が見受けられます。一人での登校は、思わぬ事故やトラブルにつながる可能性があり、大変危険です。また、通学路を守らないことは、安全面が脅かされるだけでなく、地域の方々との信頼関係にも関わってきます。

本校には、「北っ子5つのゆめ」の中に、約束やルールを守る大切さを伝えるキャラクター「まもるん」がいます。「まもるん」は、自分の命やみんなの安全を守るために、決まりをしっかりと守る「ルールの達人」です。子どもたちが「まもるん」を意識しながら、安全な行動がとれるよう、全校で取り組んでいます。

ご家庭でもぜひ次のことについて、ご協力いただければ幸いです。

- ・集団登校に間に合うよう、生活習慣を整える。
- ・登下校コースを守ることの意味や大切さについて話をする。
- ・地域や保護者の方々に対して、気持ちのよい挨拶ができるよう声掛けを行う。

学校と家庭、そして地域が一体となって子どもたちの安全を守っていくことが、何より大切であると考えています。子どもたち一人一人が安心して登下校できるよう、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



みんなのルール「まもるん」



「自律する子」を育てるということ

研修主任

私たちが子どもだった頃と比べ、今の子どもたちは、分からないことがあればすぐに答えを調べることができる便利な時代を生きています。その一方で、「まず自分で考えてみる」「試してみる」「失敗しながら答えを見付ける」という経験が少なくなっているようにも感じます。

学校でも、「どうしたらいいですか。」と、すぐに答えを求める姿が見られることがあります。もちろん、困ったときに助けを求めることは大切です。しかし、いつも誰かが答えを与えてくれる環境の中では、自分で考えたり判断したりする力は育ちにくくなります。

私たちが育てたいのは、子どもたちの自律する力です。自分で考え、自分で選び、自分の行動に責任をもち、必要なときには周りの人と協力したり助けを求めたりできることです。そのためには、「選択する経験」が欠かせません。先回りして大人が決めたり、すぐに調べれば失敗は減るかもしれませんが、その代わりに子どもは考える機会を失います。

学校では、子どもたち同士の対話を通して考えを深めたり、自分なりの方法を選択したり、友達のことを取り入れたりする場面を大切にしています。すぐに答えを教えるのではなく、「どう思う?」「なぜそう考えたの?」と問い掛けながら、自ら考える力を育てていきたいと考えています。

子どもたちが将来出合う課題には、正解が一つとは限りません。だからこそ、今必要なのは「正しい答えを早く見付ける力」だけでなく、「自分で考え、自分で選び、他者と協力する力」です。

子どもたちが、自分の力で未来を切り拓いていけるよう、学校と家庭が同じ方向を向きながら自律への一歩を支えていきたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



「1年生の様子」

1年学年主任

入学して2か月が経ちました。1年生は、学校生活に少しずつ慣れてきて、毎日楽しく過ごしています。国語科では平仮名の習得に励んだり、生活科ではアサガオの栽培をしたりと、学習にも意欲的に取り組んでいます。初めての係活動も、張り切って活動しています。子どもたちが、元気に笑顔いっぱい
で学校生活を送れるように、私たち学級担任も創意工夫をしながら指導してまいります。今後とも、ご
支援・ご協力をお願いいたします。

アサガオの芽が出たよ。
どんな花が咲くか、楽し
みだな。



学年でサイン集めをした
よ。新しい友達ができ
たよ。



図工の時間。粘土で好き
なものをつくったよ。



昼休み。登り棒のてっ
ぺんまでいけるよう
に、頑張っているよ。



遠足で、西立花公園に
行ったよ。遊具で遊ん
だり、お弁当を食べた
り、楽しい一日を過
したよ。



学校探検に行ったよ。
校長先生がお仕事して
いたよ。郷土資料室に
は、古いものがたくさ
んあったよ。

月行事予定につきましては、学校ホームページよりご確認ください。

【石井北小学校ホームページ <https://ishiikita-e.esnet.ed.jp/>】